



## Press Information

VPR05-039

2005年6月28日(火)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

### フォルクスワーゲンの「自動車リサイクル法」に基づく、2004年度再資源化等の実績について

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市、略称:VGJ)は、2005年1月から施行された自動車リサイクル法<sup>1</sup>に基づき、2004年度(2005年1月～3月)の特定再資源化等物品(ASR<sup>2</sup>・エアバッグ類・フロン類)3品目の再資源化状況を報告致します。

自動車のASR・エアバッグ類・フロン類の3品目については、適正処理・再資源化に関わる業務を、お客様から預託を受けたリサイクル料金によって行なっております。弊社では、今後も引き続き、自動車リサイクル法に沿った処理を確実かつ円滑に行うとともに、お客様および関係事業者への理解活動を通じて、全力で取り組んで参ります。

\*1. 正式名称=「使用済自動車の再資源化等に関する法律」

\*2. ASR: Automobile Shredder Residue (自動車シュレッダーダスト)

#### 【再資源化を実施すべき量に関する基準の遵守状況】

##### ASR(シュレッダーダスト)

シュレッダーダストリサイクル率	50.8%
引取シュレッダーダスト量	195.2t
委託全部利用投入シュレッダーダスト相当量	14.6t
リサイクル施設投入シュレッダーダスト量	109.1t
リサイクル施設排出残渣合計	14.6t
委託全部利用排出残渣合計	0.1t
減量されたシュレッダーダスト重量	4.7t
シュレッダーダストとして引取った台数	1,045 台
受託全部利用に引渡した解体自動車台数	77 台

ASR再資源化(リサイクル)施設の基準適合状況は、豊通リサイクル(株) <http://www.toyotsurecycle.co.jp/ASR/hikitori.html> を参照下さい。

##### エアバッグ類(ガス発生器)

エアバッグ類リサイクル率	95.7%
引き取ったエアバッグ類の総重量	4.7kg
引き取ったエアバッグ類のうちその全部又は一部を原材料又は部品その他製品の一部として利用することができる状態にしたものの総重量	4.5 kg
引き取ったエアバッグ類の個数	1,386 個
そのうち解体業者において取外し回収処理されたエアバッグ類の個数	279 個
そのうち解体業者において車上作動処理されたエアバッグ類の個数	1,107 個
引き取ったエアバッグ類に係る使用済自動車の台数	437 台
そのうち解体業者において取外し回収処理された使用済自動車の台数	78 台
そのうち解体業者において車上作動処理された使用済自動車の台数	337 台
そのうち解体業者において未作動エアバッグ類の一部を取外し回収し、残りを車上作動処理した使用済自動車の台数	22 台

##### フロン類(CFC=クロロフルオロカーボン、HFC=ハイドロフルオロカーボン)

引き取った CFC の量	125kg
引き取った HFC の量	180kg
引き取った CFC に係る使用済自動車の台数	382 台
引き取った HFC に係る使用済自動車の台数	463 台

#### 【収支の状況(単位:千円)】

	ASR	エアバッグ類	フロン類
払い渡しを受けた預託金	9,998	1,231	1,775
再資源化等に要した費用	16,808	1,402	1,803

VGJの自動車リサイクル法への取り組みはインターネットホームページ <http://www.volkswagen.co.jp/index2.html> を参照下さい。

VGJ公表実績にはフォルクスワーゲン車およびグループブランドのベントレー車の実績を含みますが、今回公表した2004年度(2005年1月～3月)の同車の処理実績は「0台」でした。